

Founding Vision

学びを、意思決定の力へ。

COMPASSは、薬学生・生命科学系学生が、英語・AI・研究・進路に関する判断材料へ早い段階でアクセスし、自分に合った学び方や将来像を考えられるよう支援する学生主体のプロジェクトである。

Better Education. Better Decisions.

任意学生支援団体 COMPASS
代表 | 松井優知 (Yuto Matsui)
最終更新日 | 2026年6月25日

Official website | <https://compass-official.pages.dev/>

Why COMPASS

学生が進路や学び方を考える際に、判断材料へ早期にアクセスできる環境を整える。

大学生活では、専門性、英語、AI、研究、進路に関する意思決定が段階的に生じる。

これらの情報や経験に触れる機会は、授業、学年、学生同士のつながりによって差が生じやすい。早い段階で判断材料にアクセスできることは、その後の学び方や進路検討を具体化する助けになる。

COMPASSは、資料、講演、交流、情報共有を通じて、授業外での学習と進路検討を学生目線から補完する。

STUDENT LENS

学生にとって

必要なタイミングで、資料、人、企画へつながる入口がある。自分の関心に合わせて活用できる。

FACULTY LENS

教員にとって

登録制、利用ルール、運用責任を明示した学生主体活動として、教育支援との接点を検討しやすい。

学生利益を最終目標に、学びと意思決定の入口を整える。

Mission / Vision / Value

英語・AI・生命科学・キャリアを、一つの未来支援へ統合する。

MISSION

使命

薬学生・生命科学系学生が、学びと将来像を結びつけて考えるための判断材料へアクセスできる環境を整える。

VISION

目指す姿

英語、AI、生命科学、研究、進路選択を、学生が自分の専門性や将来像と結びつけて考えられる環境をつくる。

VALUE

提供価値

特定の進路や価値観を前提とせず、学生が自分で考えるための選択肢、判断軸、人との接点を共有する。

情報を増やすだけでなく、判断できる状態へつなげる。

利用者・運営メンバー・協力者の関係

利用する学生、運営に関わる学生、協力する教員・外部協力者が、それぞれの立場から関われる。

USERS

ライブラリ登録者

未来戦略ライブラリやCOMPASS Essentialsを通じて、英語、AI、研究、進路に関する資料やイベント情報にアクセスする学生。必要に応じて資料を活用し、自分の学びや進路検討に役立てる。

BUILDERS

運営メンバー

企画、広報、資料改善、Web/SNS運営などに関わりながら、学生の学びを支える活動を実践的に経験する学生。

PARTNERS

協力教員・外部協力者

講演、助言、授業内紹介、教育連携などを通じて、活動の専門性、信頼性、継続性を補完する協力者。

2026年6月現在、登録者73名。
協力教員による授業内紹介と英語学習啓発講演を通じ、参加基盤を拡大する。

COMPASSの活動全体像

Resources / Education / Community の3軌道で、学びと未来設計を接続する。

01 / RESOURCES

資料提供

未来戦略ライブラリとCOMPASS Essentialsを中心に、学生が判断材料へアクセスできる導線を整える。COMPASS Interactiveは将来的な双方向型教育支援システムとして検討する。

02 / EDUCATION

教育活動

英語教育、AIリテラシー、生命科学教育を中心に、講演、ワークショップ、教材開発を段階的に実施・検討する。

03 / COMMUNITY

学生交流

学年や所属を越えて、学生同士が情報を共有し、関心の近い仲間や新たな選択肢に出会える機会を設ける。

資料で入口をつくり、教育企画で理解を深め、コミュニティで継続性を支える。
3つの活動を分離せず、学生が必要な段階で活用できる一つの導線として設計する。

公式Webサイトの世界観に合わせ、Resources / Education / Community を活動骨格とする。

常設事業 | 未来戦略ライブラリ

学習・英語・AI・研究・進路に関する判断材料を、登録制で提供する基幹プロジェクト。

未来戦略ライブラリは、北里大学薬学部生を主な対象に、試験対策、英語学習、AI活用、研究室選択、大学院進学、キャリア形成を横断的に扱う資料ライブラリである。

登録・共有の運用フロー

- | | | |
|----|----------------|--------------|
| 01 | 公式Webサイト | 入口・活動説明 |
| 02 | Googleフォーム | 登録受付・利用ルール確認 |
| 03 | Apps Script | 案内メール送信・共有設定 |
| 04 | Sheets / Drive | 利用者管理・資料共有 |
| 05 | Feedback | 内容改善・利用者対応 |

CURRENT STATUS

登録者 73名

大学アカウント必須・登録無料・無断共有禁止

登録制は、対象者確認、資料保護、著作権保護、利用者への適切な案内を支える運用設計である。

英語・AI・学習支援

英語・AI・生命科学の学びを、専門性と将来像へ接続する。

ENGLISH

英語教育

資格学習を入口としながら、論文読解、発表、国際的な情報収集へつながる力として位置づける。

AI LITERACY

AI活用教育

作業効率化に加え、思考整理、学習設計、情報検証を支える補助的なツールとして扱う。

LEARNING

学習支援

基礎知識の習得を土台に、本質的理解と将来の専門学習へ接続する。

LIFE SCIENCE

生命科学教育

研究、医療、製薬、社会実装とのつながりを通じて、生命科学を学ぶ意義を考える機会を設ける。

学生にとっては学習の入口、教員にとっては授業外学習を促す補助的な接点として機能する。

学びを共有し、無理なく関われる運営文化

一人ひとりの関心と強みを生かし、利用する学生にとって分かりやすい環境を整える。

COMPASSでは、運営メンバーがそれぞれの関心や得意分野を生かし、企画、広報、資料改善、Web運営などを分担しながら、学生が参加しやすい導線を整える。

STUDENT-FRIENDLY

- ・参加頻度を固定しすぎない
- ・学業、研究、生活との両立を前提とする
- ・関心のある企画から関われる
- ・資料やイベントを利用者目線で改善する

OPERATIONAL CLARITY

- ・月1回程度を目安に活動共有
- ・企画、資料、広報、Webの役割を整理
- ・議事録や活動記録を蓄積
- ・規模に応じて責任分担を明確化する

EDUCATION

CONTENTS

COMMUNITY

WEB / SYSTEM

GOVERNANCE

継続しやすく、学生の学びに還元される運営へ。

安心して利用できる活動であるために

学生支援の信頼性は、内容の質、情報管理、責任分界によって支えられる。

CONTENT INTEGRITY

コンテンツ管理

独自作成資料を中心に公開する。第三者著作物、過去問、講義資料については権利関係を確認し、必要に応じて参考文献や出典を明示する。

USER SAFETY

利用者情報管理

登録情報は、資料共有と利用者対応に必要な範囲で管理する。閲覧権限は代表者および登録管理担当者に限定し、目的外利用を行わない。

AI UTILIZATION & RESPONSIBILITY

生成AIは、資料構成、文章草案、システム設計の補助として活用する。目的設定、内容判断、公開可否、出典確認、最終責任は人間の運営者が担う。

重要な履修・試験・進路情報については、大学公式情報の確認を促す。現段階では任意学生支援団体として運営し、活動規模に応じて規約・記録・責任体制を整備する。

大学教員・企業・卒業生との連携

学生の主体的な関心と、教員・卒業生・外部協力者の専門的知見を接続する。

COMPASSは、学生に近い視点を生かしながら、大学教員、卒業生、大学院生、外部協力者との連携を段階的に検討する。協力教員による授業内紹介や、代表による英語学習啓発講演を通じて、関心のある学生が資料や活動へアクセスしやすい導線を整える。

連携・企画の例

- ・ 英語学習啓発講演
- ・ AI活用セミナー
- ・ 生命科学キャリア企画
- ・ 授業内でのライブラリ紹介
- ・ 研究者・卒業生インタビュー
- ・ 教材改善への助言
- ・ 学生向けワークショップ
- ・ 学内教育活動との接続

STUDENT VALUE

学生側の利益

専門的な知見に、学生が理解しやすい形でアクセスできる。

FACULTY VALUE

教員側の利益

関心のある学生へ、授業外学習や講演情報を届ける接点になる。

今後の展望

現在の利用基盤を土台に、共同運営、教員連携、制度的整備へ段階的に発展させる。

Phase 1 | 基盤整備

公式サイト、登録導線、資料群、利用ルール、個人情報管理体制を整備する。

Phase 2 | 利用基盤の拡張

2026年6月現在、ライブラリ登録者は73名。協力教員による授業内紹介と英語学習啓発講演を通じ、参加基盤の拡大を進める。

Phase 3 | 共同運営体制

企画、広報、資料改善、Web運営を複数学生で分担する体制へ移行する。運営メンバー15名以上を一つの目安とする。

Phase 4 | 教員・外部連携

大学教員、卒業生、大学院生、外部協力者との連携を広げ、教育的価値と継続性を高める。

Phase 5 | 制度的整備

登録者300名以上・運営メンバー15名以上の見通しが立ち、運営記録・規約・連携実績が整った段階で、大学公認団体化の申請を検討する。

大学公認団体化は、活動の継続性、透明性、学生への提供価値を高めるための制度的選択肢として位置づける。

期待される教育的インパクト

登録者数や参加者数に加え、学生が次の行動へつなげられることを重視する。

FOR STUDENTS

学生に期待される効果

- ・ 早期に選択肢へ気づく機会が増える
- ・ 英語、AI、生命科学を将来像と結びつけて学べる
- ・ 研究室選択、大学院進学、キャリア形成を主体的に考えやすくなる
- ・ 学生同士で相談しやすい環境が整う

FOR FACULTY

教員・教育側から見た意義

- ・ 授業外学習への関心を持つ学生と接点を持ちやすい
- ・ 講演や教材への反応を学生目線で把握できる
- ・ 学生主体活動として、教育支援の補完的導線になり得る
- ・ 透明な運用体制により連携を検討しやすい

評価指標

登録者数、運営メンバー数、イベント参加者数、資料更新数、アンケート満足度、学習行動・進路検討への影響、教員・協力者との連携実績を継続的に記録する。

活動規模の拡大と並行して、情報の質、運営の継続性、学生の行動変容を重視する。

未来の選択肢を広げる。

COMPASS Founding Vision

COMPASSは、未来戦略ライブラリを基盤に、資料提供、学習支援、交流、教育企画を段階的に展開する学生主体のプロジェクトである。

薬学生・生命科学系学生が、自分の専門性、学習方法、研究への関心、進路選択について考えるための資料、機会、人との接点を提供する。

COMPASSは、特定の正解を前提とせず、学生が自分で考えるための選択肢と判断軸を共有する。

**Better Education.
Better Decisions.**

学びを深め、進路を考えるための、学生に近い支援基盤として。

YUTO MATSUI | 学生支援団体COMPASS 代表